

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成 18 年 11 月 30 日 (2006.11.30)

【公開番号】特開 2001-114879 (P2001-114879A)

【公開日】平成 13 年 4 月 24 日 (2001.4.24)

【出願番号】特願 平 11-293115

【国際特許分類】

C 0 8 G 63/78 (2006.01)

C 0 8 G 63/181 (2006.01)

C 0 8 G 63/85 (2006.01)

【F I】

C 0 8 G 63/78

C 0 8 G 63/181

C 0 8 G 63/85

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 10 月 12 日 (2006.10.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 芳香族ジカルボン酸またはそのエステル形成誘導体からなるジカルボン酸成分と、1,4-ブタンジオールを主成分とするジオール成分とを用い、触媒の存在下で、エステル化反応もしくはエステル交換反応およびそれに続く重縮合反応を行うことによりポリエステルを製造するに際し、前記エステル化反応もしくはエステル交換反応を減圧下で行い、かつ重合反応終了以前の任意の段階で、アルカリ性化合物を添加することを特徴とするポリエステルの製造法。

【請求項 2】 前記ジカルボン酸成分が、テレフタル酸を主成分とする芳香族ジカルボン酸からなることを特徴とする請求項 1 に記載のポリエステルの製造法。

【請求項 3】 前記アルカリ性化合物が、ナトリウム化合物、カリウム化合物、マグネシウム化合物およびカルシウム化合物から選ばれた少なくとも 1 種であることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のポリエステルの製造法。

【請求項 4】 前記アルカリ性化合物を、生成するポリエステル 100 重量部に対し、0.001～0.1 重量部添加することを特徴とする請求項 1～3 のいずれか 1 項に記載のポリエステルの製造法。

【請求項 5】 前記エステル化反応もしくはエステル交換反応の反応触媒として、チタン化合物および/またはスズ化合物を使用することを特徴とする請求項 1～4 のいずれか 1 項に記載のポリエステルの製造法。

【請求項 6】 前記重縮合反応終了以前の任意の段階で、更にリン化合物を添加することを特徴とする請求項 1～5 のいずれか 1 項に記載のポリエステルの製造法。